



# 大型モニターによる動態管理する在宅医療支援（MBC）





# 退院決定患者がリアルタイムで表示

2016年10月20日 09時08分 入院62床 / 59(+3)床 【利用率105.1%】 23時59分入院予定

3F	入院予定、入院決定	退院決定	61床
10/20(木)	【内】██████ 【内】中 【内】██████	【ド】ドツ██████(0) 【内】北 ██████(0) 【内】██████(5:00) 【内】松 ██████(0)	61床
10/21(金)		【内】██████(4:00)	60床
10/22(土)		【内】██████(2:00)	59床
10/23(日)			61床
10/24(月)	【内】██████ 【内】山 崎正己		62床
10/25(火)	【内】██████		62床
10/26(水)			

お知らせ  
【開放型病床】317-1 318-1  
10/19 ████████ MR 10/24 ████████ CP  
12/27 ████████ B→A

2016年10月20日 09時08分 入院52床 / 52(+3)床 【利用率100.0%】 23時59分入院予定

4F	入院予定、入院決定	退院決定	54床
10/20(木)	【外】██████ 【外】山 【形】██████ 【形】中 ██████	【耳】██████(10:00) 【耳】松 永██████(0)	54床
10/21(金)	【形】██████ 【循外】 ██████		56床
10/22(土)		【形】██████(11:00)	55床
10/23(日)	【外】██████		56床
10/24(月)	【耳】██████ 【循外】 【耳】██████		59床
10/25(火)			59床
10/26(水)	【耳】██████ 【循外】 ██████		61床

お知らせ  
【開放型病床】415-1 416-1 420-1  
10/19 ████████ 様 422号室希望(母親付き添い)  
10/20 ████████ 様 B→A  
10/20 ████████ 様 422→B→A  
11/7 ████████ B→A

Microsoft Security Essentials を更新する  
Microsoft Security Essentials が最新の状態ではありません。クリックして更新してください。



# 大型モニターによる動態管理する在宅医療支援（MBC）

リアルタイム位置確認

連絡: 75 依頼中: 01 未到着: 04 未返信メール: 06 ログアウト manager113

自動更新 手動更新

住所検索

検索

両脇情報検索

グループ名称 全て

業種ID

顧客名

住所

業種名 全て

サブ業種名 全て

業務状態 全て

依頼している業務のみを表示

検索 検索解除

表示件数: 全て 1/1

端末利用者情報検索

端末利用者

端末利用者状態 全て

表示順 \*番号 フリガナ

検索 検索解除

表示件数: 150件 1/1

端末利用者一覧

1 訪問看護1  
完了数0 / 割当数0  
時間外 現在地 詳細

2 訪問看護2  
完了数0 / 割当数0  
時間外 現在地 詳細

Copyright © 2016 ZENRIN DataCom CO., LTD. All Rights Reserved.

(株式会社ゼンリンデータコム)

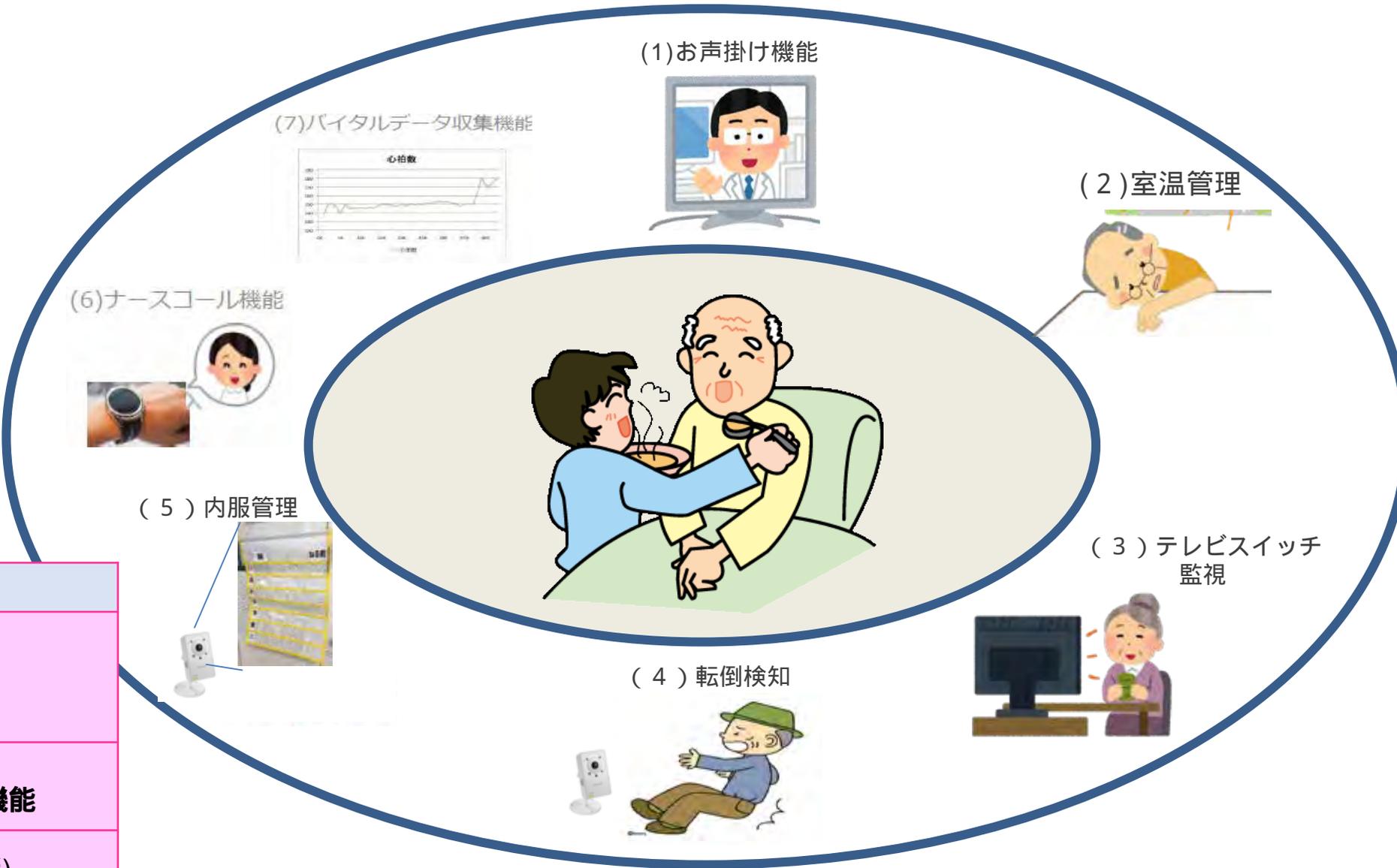


## ( 3 ) 地域と共に支える仕組みづくり

IoT・AIを使った在宅見守りシステム



# IoT・AIを使い情報インフラを構築



機器	機能
タブレット	<ul style="list-style-type: none"> <li>お声掛け機能</li> <li>遠隔診療</li> </ul>
スマートウォッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナースコール機能</li> <li>バイタルデータ収集機能</li> </ul>
AIカメラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>転倒検知(AI画像解析)</li> <li>長時間不在検知(AI画像解析)</li> </ul>



# 液晶テレビを利用したオンライン(遠隔)診療



ICTを使えないお年寄りに！

「タッチパネルは使えない。」

「壊したらどうしよう。」

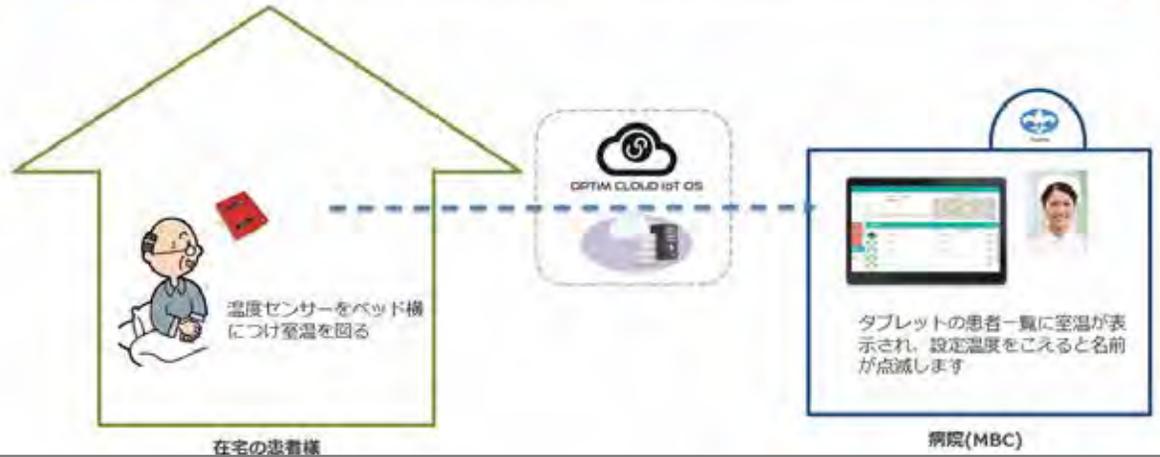
「怖い・・・。」



## 患者様宅の室温管理

### ■ 患者様宅の室温管理

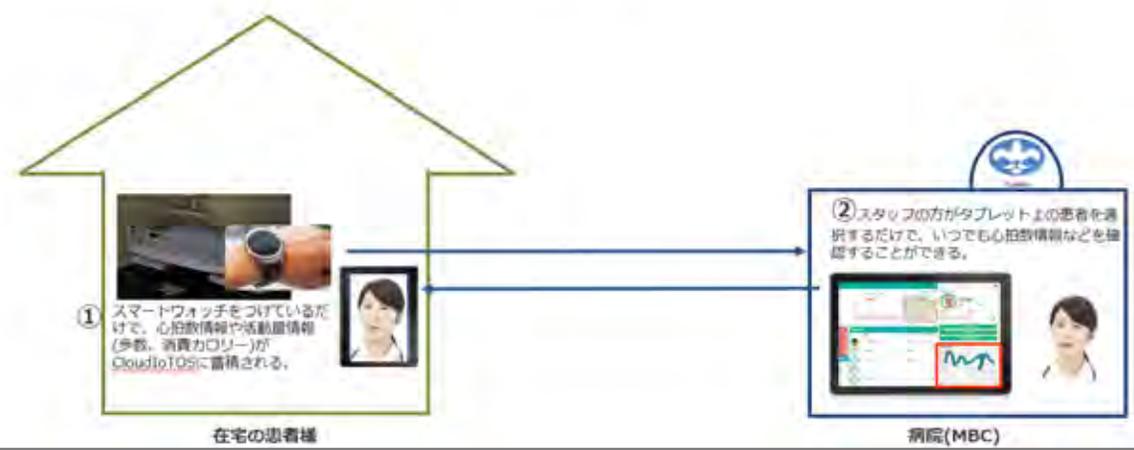
在宅患者様の部屋に温度センサーを設置して、病院のタブレット上の管理画面から**室温が管理**できます。**部屋の温度が設定温度に到達したら、お名前欄が点滅します。**  
 ※点滅はお名前のクリックで解除できます。



## 心拍数の計測

**スマートウォッチ**をつけているだけで、**心拍数情報**や活動量情報(歩数、消費カロリー)を計ることができます。

※患者様の腕にスマートウォッチの装着をお願いします



## AIカメラによる転倒検知機能

### (3) 転倒検知機能

ご家族が事前にカメラの作動を許可した時だけカメラ撮影が動作し、AIによる人検知により、時間系列での人の動きを分析、**転倒状態を検知しアラート**を発行する。  
 (※転倒アラートは、ご家族への通知も可能)



## AIカメラによる内服管理

内服管理表が不規則になると、病院へ連絡が行きます。  
**病院から自宅に連絡をして、必要は自宅訪問を行います。**



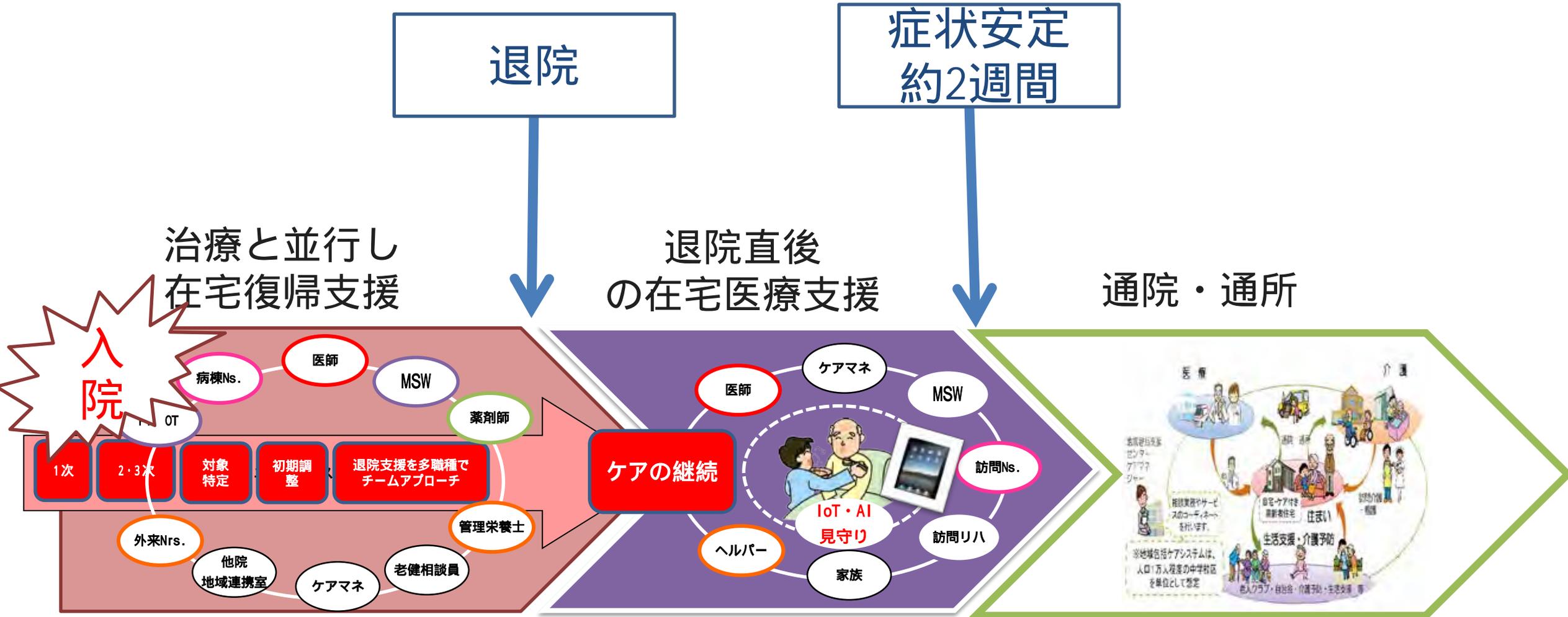


# 見守りシステム・モニター

IoT・AIによる在宅見守りの高齢者にアクシデントが起きた場合にアラートが鳴り知らせる。



# まとめ：「治す医療」から「治し支える医療」への転換



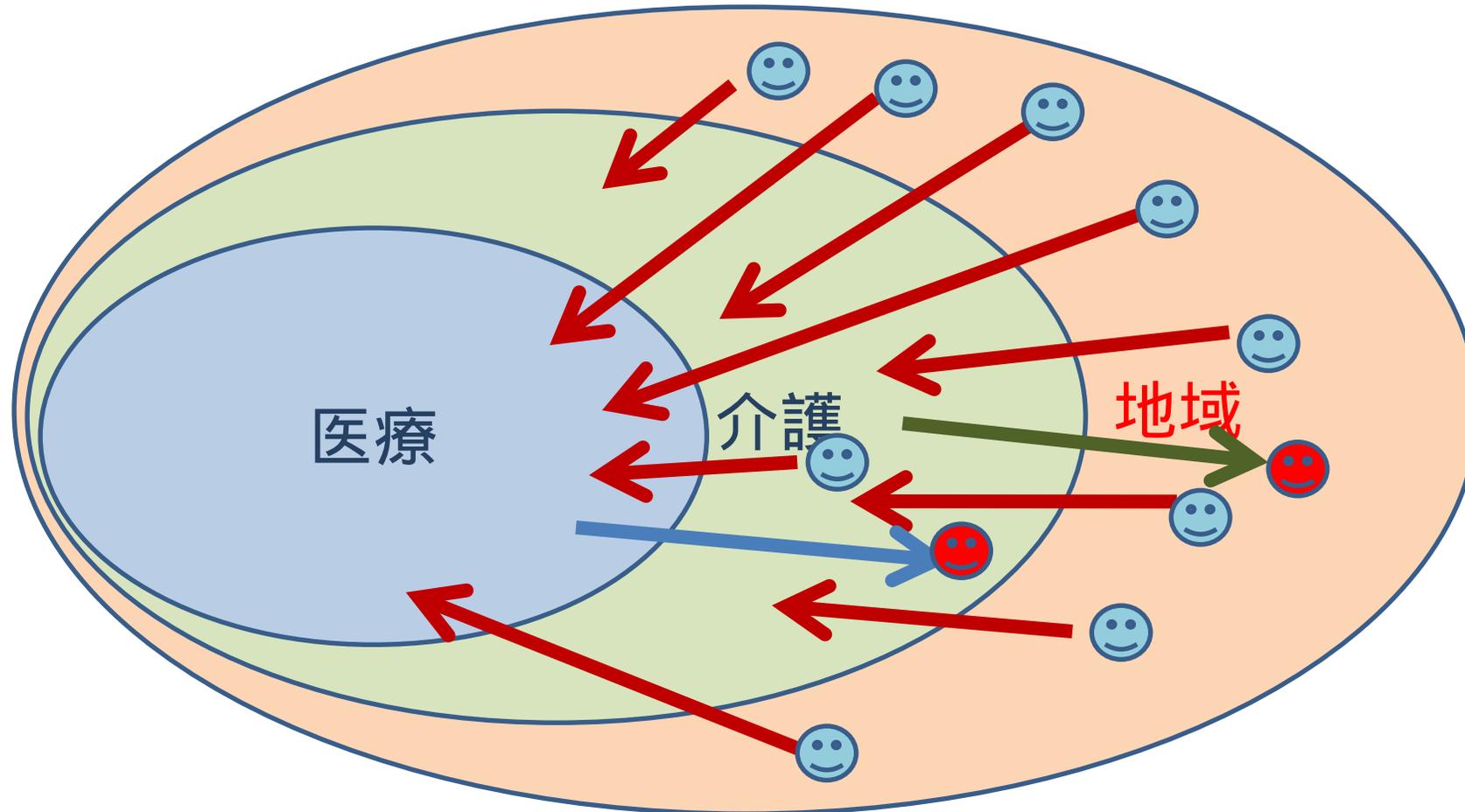
・ 多職種協働の  
フラット型退院支援

・ MBC  
メディカル・ベースキャンプ

・ 地域包括ケアを  
バックアップ

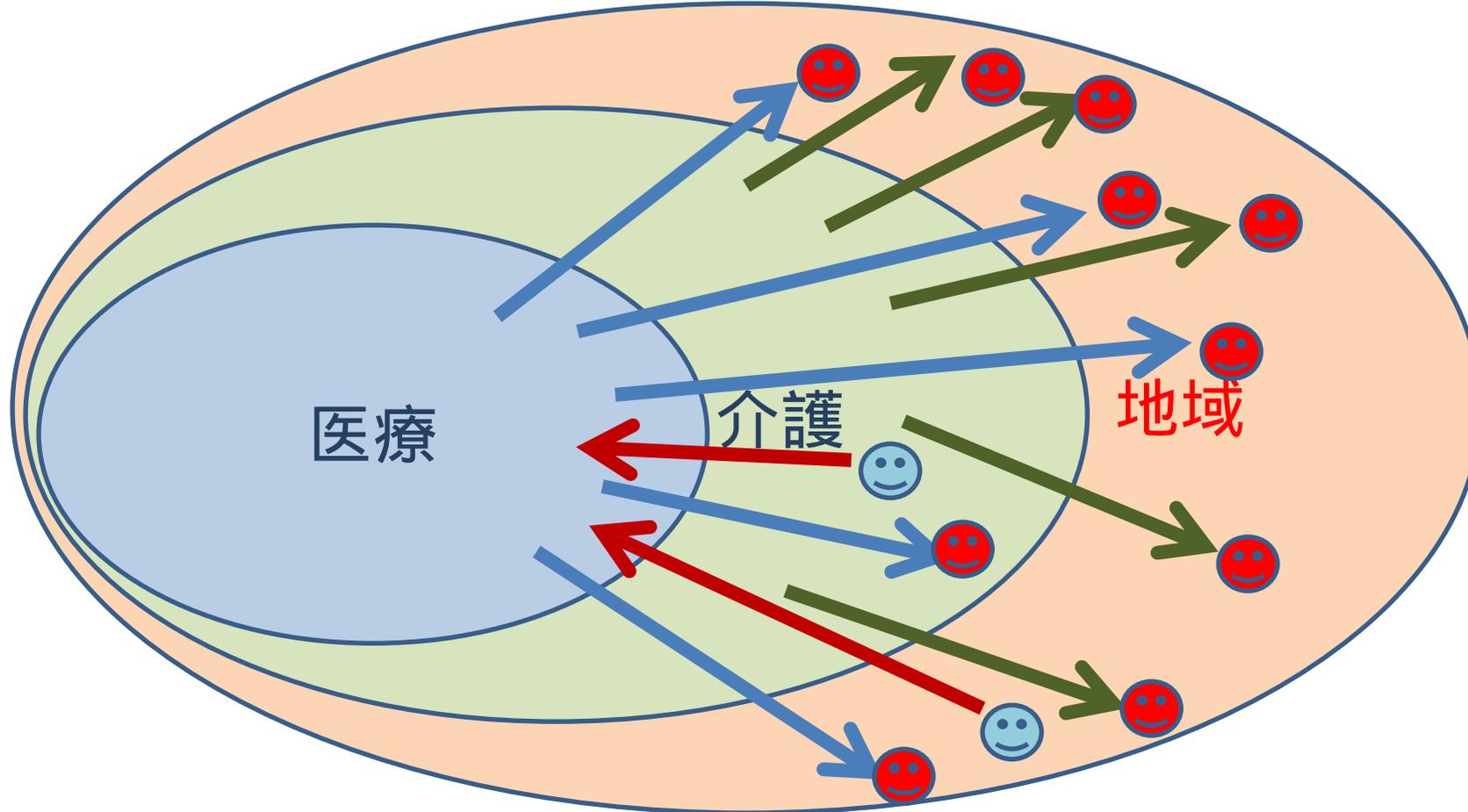
これまで：

医療機関や介護施設に通うサービスが主体



# 85歳以上が急増する時代：

医療機関まで来ることができない患者さんも増加！  
在宅医療の充実を早急に進めるためには、  
オンライン診療の有効活用しかない



# まとめ：

1. 人口構造の変化に伴い、85歳以上の救急患者、新規入院患者が急増すると共に、退院後在宅へ帰る患者が増えている。
2. 85歳以上の退院患者は、退院直後のケアの継続が重要である。症状が不安定なケースや、家族に不安感が強い場合は、在宅医療・多職種協働チームの介入が有用であり、このチームは同意を得た上でデスクトップを仮想化した電子カルテを使用している。デスクトップ仮想化システムの構築により個人情報セキュリティを担保しており、使用するスタッフには個人情報の取り扱いについての教育を徹底している。
3. また、独居・老々世帯が増加するなか、介護する人材不足をカバーするためにIoT・AIを活用した見守りサービスを目指している。同意を得た上で実証実験を進めており、家庭におけるプライバシーの問題には細心の注意を払い侵害することが無きよう徹底している。通信経路はSSL通信にて暗号化しており、サーバー設備のセキュリティについてもISO27001(ISMS)に沿って厳格に管理している。
4. 退院後ケア継続のための**在宅医療のシステム**と、突然のアクシデントを早期に見つけ出すIoT・AIを活用した**見守りシステム**の構築は不可欠であり、この二つのシステムにより「住み慣れた地域で自分らしく最後まで」を地域と共に支える仕組みづくりに尽力したい。<sup>25</sup>